

# 増山而展 第三回 山雨而來

後200年記念

Y M  
A A  
M S  
A H

虫好き大名、  
今日も描く。

**4  
2019**  
**sat**  
▼  
**6  
16**  
**sun**

**休館日**＝毎週月曜日  
**(但し4月29日、5月6日開館)**、5月7日(火)  
**開館時間**＝午前9時30分～午後5時  
**(入館は午後4時30分まで)**

王催<sup>ニ</sup>・三重県立美術館・朝日新聞社  
助成<sup>ニ</sup>・公益財団法人岡田文化財団、  
公益財団法人三重県立美術館協力会  
特別協力<sup>ニ</sup>・国立文化財機構文化財活用セントラル  
東京国立博物館  
後援<sup>ニ</sup>・桑名市・桑名市教育委員会  
※会期中、作品の展示替えを行います。

# 三重県立美術館

Mie Prefectural Art Museum

S  
E  
C  
T  
I  
O  
N

增山雪齋（虫夷帖）東京國立博物館所藏 Image © The Image Archives  
增山雪齋（獵圖七絕句）文化11年（1884）個人藏  
增山雪齋（花草蜻蛉圖）個人藏



伊勢国長島藩第5代藩主・増山正賢(1754-1819)は、書画に長けた文人大名として、「雪斎」の号で知られています。画は、清の沈南蘋に私淑し、山水人物から花卉草虫に至るまで、数多くの作品を遺しました。とりわけ、虫類

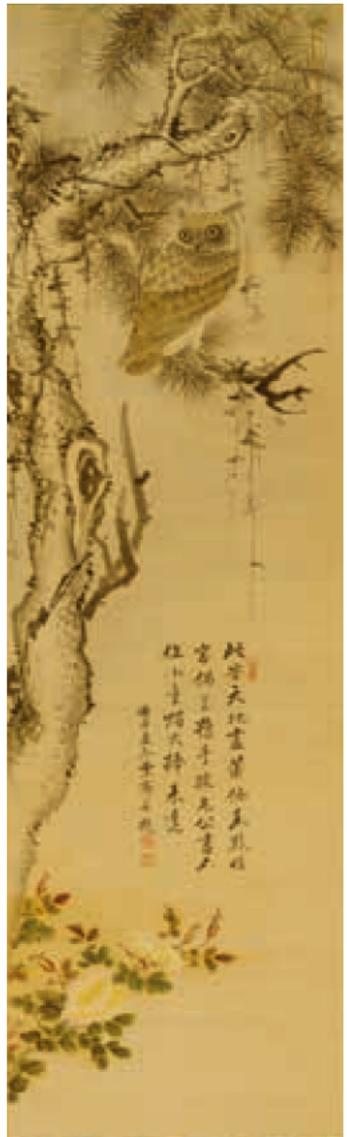
を真写した博物図譜、南蘋流の花鳥画にみられる表現の精緻は、高く評価されてきました。雪斎の細やかな写生は、江戸博物学の発展という時代背景とともに、愛護の心に富んだ人格によるものといえます。雪斎の師友に対する情はあつく、江戸詰のお抱え絵師の春木南湖を長崎に遊学させて、来船清人・費晴湖に画を学ばせるなど厚遇し、また大坂の木村蒹葭堂が零落した時は、しばらく領内にて庇護し、その苦境を支えました。藩も身分も越えた親交は、雪斎の文人教養を高めるにとどまらず、長島藩の文化振興にも影響を与えました。本展覧会では、没後200年という節目の年にあたって、雪斎の業績を顕彰し、雪斎の画業をたどる作品、雪斎とこの地に関わりのある画家の作品を広く紹介します。

①春木南湖「雪斎公肖像画」部分 文化14年(1817)個人蔵、②増山雪斎「老松巣鳥図」寛政4年(1792)個人蔵  
③増山雪斎「黄蜀葵に鶴翠図」個人蔵、④木村蒹葭堂「蒹葭堂日記」羽間文庫本 大阪歴史博物館所蔵  
⑤増山雪斎「虫考帖」東京国立博物館所蔵

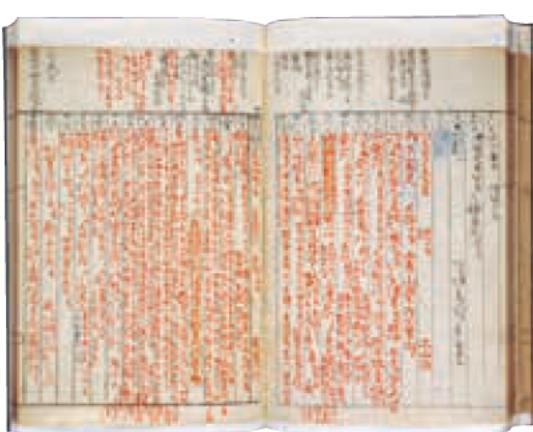
夜中、窓の前にとまつた  
ミヅクを描きました。



雪斎は、花や鳥などの絵が得意でした。



夜中、窓の前にとまつた  
ミヅクを描きました。



雪斎の親友、  
蒹葭堂の日記。

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282